



学校の図書室には面白い本がいっぱい！

子ども達の朝の読書の様子を見に行くと、誰もが真剣に読書をしているように見えます。しかし、中には、なかなかページが進まない子、ページを戻る子がいまいます。本校の令和5年度の年間読書の冊数は、800冊ほど。昨年の調査では、月に一

自宅で本を読んでいますか

読書のメリットはたくさん…

人あたり6冊ほど読んではいませんが、読書の時間のペースを見てみると、自宅でどんな本を、どれだけ読んでいるのか疑問です。学校の朝読書ではどんなジャンルを読んでも良いとは、国語の先生が「子ども達に

読んで欲しい本」を選んで入れています。ぜひ、図書室の本を借りて、自宅でも「本を読む習慣」を付けてほしいです。本を読むことで、言葉を知り、コミュニケーションのきっかけをつかむことができる、いろいろな価値観を得て視野が広がる、表現力、文章力、読解力などが身に付く、など多くのメリットが期待されます。ぜひ、御家庭でも家族そろって読書を楽しみましょう。

GWが終わって、子ども達の目標は体育大会から中総体へと方向転換をしています。しかし、部活動に入っていない数名の生徒は、何をしているのかな、と少し気になっていました。すると、体育大会が終わってすぐに、ソーランの法被の整理を手伝っていました。きれいにたたんで、返却の準備をしています。黙々ときれいに整理している様子を見て、翁中にはこんな縁の下の力持ちがいるからこそ、大きな力が出せるのだと実感しました。感謝です。

英語は得意？

翁頭中ではこんな授業やっています



英語の授業を楽しむ | 1年生 = 5月10日(金)

先日は、1年生の授業に教育委員会から椎原指導主事とニコラス先生にも来ていただき御指導いただきました。

子ども達は緊張しながらも話をしっかり聞き、自分から英語を使って話をしようと必死でした。学生の頃から英語が苦手な私にとって、1年生が頑張っている姿は、素晴らしい、の一言です。子ども達の英語教育での理想は、英語で自分の気持ちを伝えられることです。英語で話しかけられても目を伏せてしまう、そんな子どもを一人でも減らしたい、そんな思いです。特に1年生は

元気がよく、どんどん上達する要素がいっぱいです。まずは、英語を好きになってほしいです。英語を勉強することで、世界は広がります。他国の文化を知ることができたり、自分が将来何をしたいかに気付くことができたりします。世の中は英語が

溢れています。本校では、多くの子ども達が英語を身近に感じ、楽しく学習できるように、指導しています。ぜひ、一度のぞいてみてほしい授業の一つです。

校長室から

おうとう

第 3 号
翁頭中学校
文責 日高洋子

チャドクガ幼虫注意!

街路樹の樁の木に発生中

市役所建設課から街路樹の樁の木にチャドクガ発生連絡がありました。チャドクガは卵・幼虫・脱皮した殻・さなぎ・成虫のすべての段階で毒針毛(どくしんもう)と呼ばれる毒針を持っており、刺されると激しいかゆみや発疹(ほっしん)があるとされています。衣類に付いた毒針に触れても同じような症状が出ます。衣類に付いたら、テープなどでとり、洗濯機で洗う場合は他の物とは別に洗います。被害は幼虫(毛虫)によるものが多く、この時期には大量に発生することが多いとされています。気をつけましょう。